



損保ジャパン記念財団 News

●発行：財団法人損保ジャパン記念財団 〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-1-16 損保ジャパン新宿東ビル 11階

TEL03-5919-0711 FAX03-5919-0710 <http://www.sompo-japan.co.jp/foundation> Eメール:fvgp3340@mb.infoweb.ne.jp

「第4回損保ジャパン記念財団賞贈呈式」を開催

— わが国で唯一の社会福祉学術文献表彰制度 —

わが国における社会福祉の優れた学術文献を表彰する「第4回損保ジャパン記念財団賞贈呈式」を3月24日、株式会社損害保険ジャパン本社ビル43階で開催しました。贈呈式では、厚生労働大臣の祝辞をはじめ、社会福祉学会・マスコミ・出版社・関係団体など各方面からの出席者に加え、当財団役員のほか財団25年目の節目にあたり財団の歴代役員も含め140名を超える方々が出席され、盛大かつ感動的な贈呈式となりました。

受賞文献は、推薦著書16編、推薦論文7編が3回にわたる審査会において、白熱した議論の中で慎重に審査され（審査委員長・三浦文夫日本地域福祉学会顧問）、1月27日の臨時理事会で、著書部門が田中英樹氏の『精神障害者の地域生活支援』に、論文部門が田川佳代子氏の『高齢者ケアマネジメントにおける倫理的意思決定』に決定しました。

この賞は、社会福祉に関する学術研究に携わる中堅・若手の研究者が、等しく目標とする賞として当財団が最も重視している事業であり、知名度も年々高まっています。今回の2名の受賞者はいずれも今後の活躍が大いに期待される逸材です。

なお、受賞者記念講演会を本年6月21日（土曜日）に東洋大学で開催する予定です。



左から 受賞者の田中英樹氏、有吉理事長、受賞者の田川佳代子氏



祝辞を述べられる
厚生労働省社会・援護局
の宇野課長



開会挨拶をする
有吉理事長



審査講評をする
三浦審査委員長



懇親パーティー



受賞者にお祝いを述べられる
環境省総合環境政策局長の
炭谷氏

— 損保ジャパン記念財団賞 受賞文献 —



1. 著書部門 (賞状・記念品・副賞; 研究出版助成100万円)

『精神障害者の地域生活支援—統合的生活モデルとコミュニティソーシャルワーカー』

田中英樹 様 (長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 教授)

2. 論文部門 (賞状・記念品・副賞; 研究助成30万円)

『高齢者ケアマネジメントにおける倫理的意思決定

—ソーシャルワークにおける道徳的推論の適用に関する議論からの一考察—』

田川佳代子 様 (旧姓 沖田) (愛知県立大学 文学部 助教授)

平成15年度 事業計画・予算決まる

3月24日(月)開催の理事会・評議員会において、総額1億3千万円の事業計画および収支予算が承認されました。現在の経済情勢下では寄付収入・運用収入の減少が予想されますが、昨年並みの寄付収入の確保につとめ、事業費総額では前年と同額を予算に計上しています。5年目を迎えまだニーズの高い「NPO法人設立資金助成」および「自動車購入費助成」に加え、「損保ジャパン記念財団賞」の円滑な運営・実施、研究会活動に重点を置いた事業活動を行い、社会福祉分野における社会貢献を実現してまいります。



理事会議長の有吉理事長



理事会・評議員会



評議員会議長の杉崎評議員

1. 社会福祉事業

(1) NPO法人設立資金助成 (3,000万円・4月公募—現在受付中—)

障害者・高齢者福祉の活動を行う団体で、平成15年度中にNPO法人の設立申請を行う団体に対し、1団体30万円、総額3,000万円を助成する。

(2) 自動車購入助成 (1,000万円・9月公募予定)

西日本地区のNPO法人等の障害者福祉団体に対し、1団体100万円、総額1,000万円を助成する。

(3) 会議会合・国際交流費助成 (500万円・非公募)

障害者福祉団体の各種会合の協賛費・国際交流費、地域災害発生時の緊急対策費とする。

2. 福祉諸科学事業

(1) 研究助成 (200万円・非公募)

(2) 研究会 (講演会と合わせて700万円・前年度から継続して実施)

① 米国保険法(役員賠償責任保険)研究会

② 消費者契約法と規制緩和研究会

- ③ 欧州ヘルスケアビジネス及びディジーズマネジメント研究会
- (3) 講演会 (研究会と合わせて700万円)
- (4) 財団叢書等の発行 (300万円)
- ① 研究会の研究成果、講演会の講演録等
- ② NPO法人に関する支援資料の作成等



議案を説明する田中専務理事

3. 損保ジャパン記念財団賞

- (1) 賞 : 著書部門 原則1件
論文部門 原則3件以内
- (2) 対象者 : 将来性が期待できる中堅・若手の研究者
- (3) 対象文献 : 平成14年度中に社会福祉に関する国内で発表された学術的に優れた著書・論文で指定推薦者の推薦を受けた文献

平成15年度収支予算							
(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)							
(単位:円)							
科 目			15年度	14年度補正	増 減	備 考	
大 科 目	中 科 目	小 科 目	予算額	予算額			
I. 収入の部							
1. 基本財産運用収入			10,000,000	12,000,000	△2,000,000	運用収入の減	
2. 寄付金収入			78,000,000	78,000,000			
3. 雑収入	受取利息		20,000	20,000			
4. 基本財産収入			0	0			
当期収入合計(A)			88,020,000	90,020,000	△2,000,000		
前期繰越収支差額			57,864,298	80,284,298	△22,420,000		
収入合計(B)			145,884,298	170,304,298	△24,420,000		
II. 支出の部							
1. 事業費							
社会福祉事業	助成金		45,000,000	45,000,000			
		諸費用	4,000,000	4,000,000			
	(小計)		49,000,000	49,000,000			
	福祉諸科学事業費	助成金		2,000,000	2,000,000		
		諸謝金		7,000,000	7,000,000		
		干渉物関係		3,000,000	3,000,000		
		諸費用		3,000,000	3,000,000		
	(小計)		15,000,000	15,000,000			
	文献発表事業費			8,000,000	8,000,000		
	(小計)		8,000,000	8,000,000			
【事業費計】			72,000,000	72,000,000			
2. 管理費							
人件費	給与等		13,000,000	13,500,000	△500,000		
		物件費	2,000,000	1,900,000	+100,000		
	旅費交通費		200,000	200,000			
		通信費	600,000	800,000	△200,000		
		消耗品費	400,000	500,000	△100,000		
		図書費	200,000	150,000	+50,000		
		備品費	300,000	500,000	△200,000		
		資産管理費	600,000	600,000			
		印刷製本費	200,000	350,000	△150,000		
		光熱費	0	20,000	△20,000		
		賃貸料	500,000	500,000			
		調査費	200,000	150,000	+50,000		
		諸会費	600,000	700,000	△100,000		
		雑費	2,300,000	2,800,000	△500,000		
		業務委託費	7,200,000	7,700,000	△500,000	スタッフ2名体制	
		(物件費小計)		15,300,000	16,870,000	△1,570,000	移転・名称変更の臨時経費分減額
		(管理費計)			28,300,000	30,370,000	△2,070,000
3. 基本財産支出							
基本普通預金支出			0	0			
投資有価証券購入支出			0	0			
4. 特定預金支出							
退職給与引当預金支出			0	70,000	△70,000		
5. 予備費							
			10,000,000	10,000,000			
当期支出合計(C)			110,300,000	112,440,000	△2,140,000		
当期収支差額(A-B)			△22,280,000	△22,420,000	+140,000		
次期繰越収支差額(B-C)			35,584,298	57,864,298	△22,280,000		



「NPO法人設立資金助成」申込み受付中

受付期間：

平成15年4月1日（火）～4月30日（水）（当日の消印有効）

助成対象者：障害者・高齢者の在宅福祉活動を行う団体で、平成15年4月1日～平成16年3月31日までに所轄庁へNPO法人設立申請予定の団体

助成金額：1団体30万円（総額3,000万円）

資金使途：法人設立に関する費用であれば使途は問わない。

申込方法：助成申込書を当財団にFAX（03-5919-0710）で請求するか、当財団ホームページからダウンロードし受付期間内に郵送で提出する。

選考方法：6月上旬に開催の選考委員会で選考

助成時期：6月下旬

「自動車助成贈呈式」各地で開催される

平成14年度社会福祉助成「自動車購入費助成」の助成先に対し、最寄りの損保ジャパン各支店において贈呈式が開催されました。各支店から報告のあったマスコミ掲載記事、贈呈自動車の写真をご紹介します。



平成14年度は、東日本地区を対象に募集(募集期間：平成14年10月15日～11月5日)を行い、応募総数61件の中から平成14年11月28日の選考委員会で厳正な審査を経て、下記の10団体が選考されました。（助成金額は1団体100万円、総額1,000万円）

<自動車購入費助成助成先10団体>

都道府県	団体名	代表者名
青森県	青森市精神障害者家族会 ハートスポット	千葉 金作
岩手県	特定非営利活動法人 かまいし・まちの福祉研究会	千葉 恵久夫
宮城県	NPOくもりのち晴れ	佐藤 玲子
埼玉県	大和根福祉彩虹会	齊藤 貞子
千葉県	特定非営利活動法人 育成技能協会	竹森 久男
東京都	特定非営利活動法人 地域生活を創るこげら会議	箕田 一裕
東京都	特定非営利法人 コミュニケーション支援センター	細川 正嗣
神奈川県	ウィメンズネット・サポート(WNS)	坂根 昌子
山梨県	杜の風 キッズクラブ ひまわり	須田 晶子
長野県	特定非営利活動法人 レスパイトケア はちもり	大和 章

1. 東奥日報 15. 1. 23 付け
 青森市精神障害者家族会 ハートスポット
 青森支店

財団法人損保ジャパン
 記念財団は二十二日、青
 森市の精神障害者通所作
 業所「青森市精神障害者
 家族会 ハートスポッ
 ト」(千葉金作所長)に
 助成金百万円を贈った。
 ハートスポットは、軽
 作業を通して精神障害者
 の自立を促している福祉
 施設。
 損保ジャパン財団は毎

青
 森

精神障害者作業所に100万円

損保ジャパン
 記念財団贈呈



竹内部長から目録を受ける千葉所長

年、社会福祉団体に助成
 を行っており、今年は「
 の十団体に「自動車購入
 資金助成」として計一千
 万円を贈ることを決めて
 いる。

贈呈式は青森市新町の
 損保ジャパン青森支店で
 行われ、同支店の竹内義
 雄部長から目録を手渡し
 れた千葉所長は「助成金
 で車を購入し、障害者の
 送り迎えなどに有効活用
 します」と笑顔を見せて
 いた。

2. 岩手日報 15. 1. 10 付け
 NPO法人 かまいし・まちの福祉研究会
 北東北業務部

福祉活動に使って
 釜石のNPOに車寄贈

損保ジャパン
 記念財団



損保ジャパン記念財団の助成金でかまいし
 ・まちの福祉研究会に贈られたワゴン車

財団法人
 損保ジャパ
 ン記念財団
 (東京、有
 吉孝一理事
 長)は八日、
 釜石市の民
 間非営利団
 体(NPO)
 法人かまい
 し・まちの
 福祉研究会
 (千葉恵久
 夫理事長)に百万円相当
 の自動車を贈った。同研
 究会は車を「おもしの号」
 と命名、高齢者や障害者
 の支援、青少年の健全育
 成活動に役立てる。
 同財団の社会福祉助成
 金で購入した車は中古の
 四駆ワゴン車。贈呈式は
 同市定内町の同研究会作

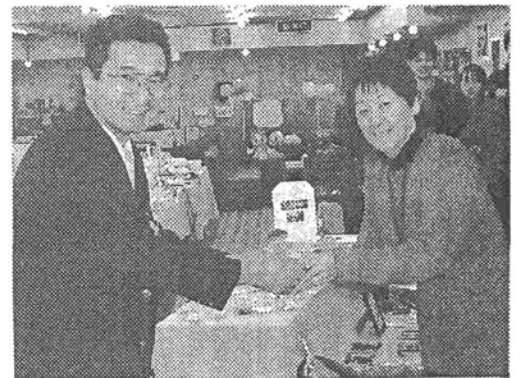
損保ジャパン
 記念財団

業所で、関係者約二十人
 が出席して行われた。
 財団理事長の代理で株
 式会社損保ジャパン北東
 北業務部の村田幸平総務
 課長が「交通安全に留意
 して活動の場を広げてほ
 しい」とあいさつ。千葉
 理事長は「障害者の野外
 観察や施設慰問に活用し
 たい」と謝辞を述べた。
 同財団は、全国の社会
 福祉団体に毎年度、助成
 金を交付している。本年
 度は東日本地区で助成を
 希望した六十一団体の中
 から十団体を選び、自動
 車購入資金として計一千
 万円を助成した。
 同市や大槌町の有志に
 よる同研究会は、二〇〇
 〇年四月に本県沿岸部初

の福祉関係NPOとして
 認証された。昨年度は、
 不登校生徒や引きこも
 り者を受け入れる「おも
 り学級」を開設。本年度
 は、精神に障害を持つ若
 者が学ぶ場としてパソ
 ン学習授業を行ってい
 る。

3. 大崎タイムス 15. 1. 9 付け
NPOくもりのち晴れ
仙台支店

NPOに軽自動車
損保ジャパン記念財団が寄贈



台支店の浜田陽一総括課長らが同ハウスを訪れ、協力ディーラーの宮城スバル自動車(株)古川営業所の高橋新一店長代行が、佐藤玲子代表理事に車のキーを手渡した。佐藤代表理事は「ぼかぼかハウスの送迎などで活用させていただきます」とお礼の言葉を述べた。車の購入費は宮城スバルの協力で百万円以内の枠に収められ、近日中に納車される見通し。

自閉症や知的障害の人たちを支援する古川市のNPO「くもりのち晴れ」に、損保ジャパン記念財団(本部・東京都新宿区)から軽自動車一台が贈られることになり、先日、同NPOが運営する市内七日町の「ぼかぼかハウス」で贈呈式が行われた。写真。同財団は昭和五十二年、安田火災記念財団として発足し、昨年七月の会社統合に合わせ改名。社会福祉分野などへの助成事業を行っており、平成十一年度から障害者福祉団体に自動車購入資金も助成している。今年も全国から六十件の申請があり、十件一千万円分を助成団体に選出。県内からは唯一、同NPOが選ばれた。

当日は損保ジャパン仙



贈呈式で挨拶をする浜崎課長(仙台支店)



4. 埼玉新聞 15. 2. 12 付け
大利根福祉虹彩会
埼玉東支店



財団に代わり助成の報告を行ったあと、四人乗りホンダ「アクティ・バン」を贈呈した。写真。

同財団は、損保ジャパンの出捐により昭和五十二年から社会貢献活動として社会福祉助成金を行っており、今年で二十五回目。

大利根の福祉
作業所に車贈る

損保ジャパン財団

財団法人・損保ジャパン記念財団(有吉孝一理事長)はこのほど、大利根町旗井の福祉作業所「にじの家」(大利根町虹会・斉藤貞子会長)に自動車購入資金として百万円を助成し、同所で自動車の贈呈式を行った。損保ジャパン埼玉東支店の荒井啓隆支店長が同

動に役立てていきたい」とお礼を述べた。

5. NPO法人 地域生活を創るこげら会議
西東京支店



6. 山梨日日新聞 15. 2. 13付け
社の風 キッズクラブ ひまわり
山梨支店



障害児施設に
助成金を贈呈
損保ジャパン記念財団
財団法人損保ジャパン記
念財団(有吉孝一理事長)
は十二日、長坂町長坂下条
の障害児通園施設「ひまわ
りの家」で同施設への助成
金贈呈式を行った。



同財団が社会福祉団体に
対して行っている助成で、
本年度は六十一件の応募か
ら十件が選ばれた。金額は
百万円。同施設を四月から
運営するNPO法人「社の
風キッズクラブひまわり」
に対して贈られた。
式には保護者ら約二十人
が出席。損保ジャパン山梨
支店の奥雄二郎支店長が
「有効に活用し、地域の福
祉に貢献してほしい」とあ
いさつし、施設利用者の長
坂中二年小松亮太君(巴)
目録を手渡した。
助成金は送迎車の購入費
として活用される。「社の
風」の須田晶子
代表は「校外学
習や遠足など幅
広い活動に役立
てたい」と感謝
の言葉を述べ
た。

小松亮太君に目
録を手渡す奥雄
二郎支店長(長
坂町長坂下条

刊行物のお知らせ

● 財団25年史

『新世紀の創造を目指して—安田火災記念財団の四半世紀と 損保ジャパン記念財団の始まり—』



- ・社会福祉助成や損害保険の研究等をとおして社会に貢献することを目的に事業を行っている当財団25年の活動記録をまとめました。
- ・損保ジャパン全担当店あて1部ずつ、4月中旬に一括配布します。
- ・当財団に在庫があります。必要な場合は請求してください。

● 財団叢書NO.64

『第3回安田火災記念財団賞受賞者記念講演録』



- ・「第3回（平成13年度）安田火災記念財団賞受賞者記念講演会」の講演録を作成しました。
- ・国会図書館をはじめ各県の主な図書館、大学図書館で閲覧できます。
- ・当財団に在庫があります。必要な場合は請求してください。

寄付金の御礼

- 次の方々から寄付金をいただきました。ありがとうございました。

(寄付日順・3月25日現在)

株式会社ジャパン保険サービス 様、株式会社損保ジャパンカービジネスサポート 様、
株式会社損保ジャパン調査サービス 様、株式会社損保ジャパン・ビルマネジメント 様、
ユニバース開発株式会社 様、損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社 様、
株式会社損害保険ジャパン・フィナンシャルギャランティアー 様、
株式会社損保ジャパン厚生サービス 様、株式会社損保ジャパン・クレジット 様
株式会社損保ジャパン研修サービス 様、株式会社損保ジャパン企業保険サービス 様、
株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント 様、株式会社損保ジャパン総合研究所 様、
株式会社損保ジャパン・システムソリューション 様、株式会社サンビルメンテナンス 様、
株式会社損保ジャパン代理店サービス 様、株式会社損保ジャパン情報サービス 様、
株式会社損保ジャパン・プリンティング 様、株式会社損保ジャパン印刷 様、
株式会社インシュアランスマネジメントサービス 様、株式会社キャリアビューロー 様、
安田企業投資株式会社 様、庄司 晴雄 様、損保ジャパンちきゅうくらぶ 様、並河尚典 様
オートビジネスサービス株式会社 様、損保ジャパンひまわり生命株式会社 様